

平成20年度SPP「原子力を知っていますか？」

発表テーマ 「環境問題」

第1班

川澄 昌寛 高地 竜矢  
野久尾 真一 宗形 啓生

埼玉県立川口高等学校 第3学年  
平成20年6月19日(木)

1

地球環境問題への  
基本的な考え方・取り組み方  
3 R 運動

Reduce (リデュース) = 減量

Reuse (リユース) = 再使用

Recycle (リサイクル) = 再生  
(ヨーロッパ諸国では4Rが主流。)

Refuse (リフューズ) = 拒絶  
(他にも)

Reform (リフォーム) = 改造・改良  
不便さとの共存

= 合理性・便利さの追求が環境破壊を進行させた。

光合成



植物がなくなれば  
酸素がなくなる

酸素がなければ  
生命が維持できない

緑の木々はただひとつの  
酸素供給者である

植物が大気の浄化にいかに重要か

大気汚染の主な原因 自動車

自動車の排ガスによる大気汚染は、大きな環境問題である。つい最近まで我々は、車の排気筒から多くの化学物質が放出されるのに気付かなかった。無鉛ガソリンや、触媒装置は自動車による大気汚染を減らす方法である。

車1台1年分の汚染物質放出量

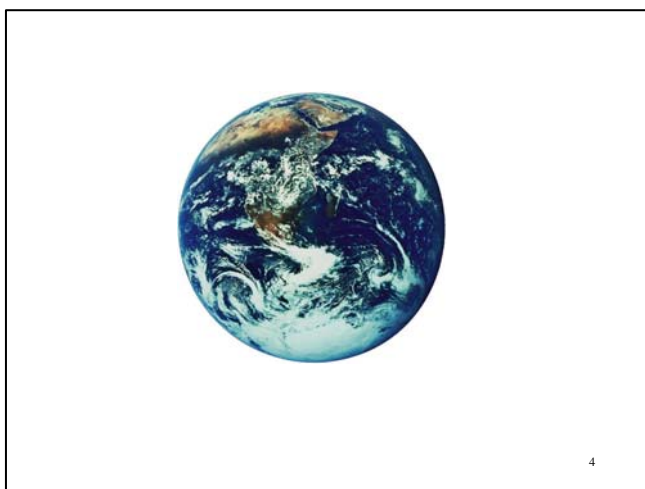
|       |        |
|-------|--------|
| 一酸化炭素 | 560kg  |
| 炭化水素  | 80kg   |
| 窒素酸化物 | 32kg   |
| 鉛     | 0.48kg |
| 二氧化硫  | 0.96kg |



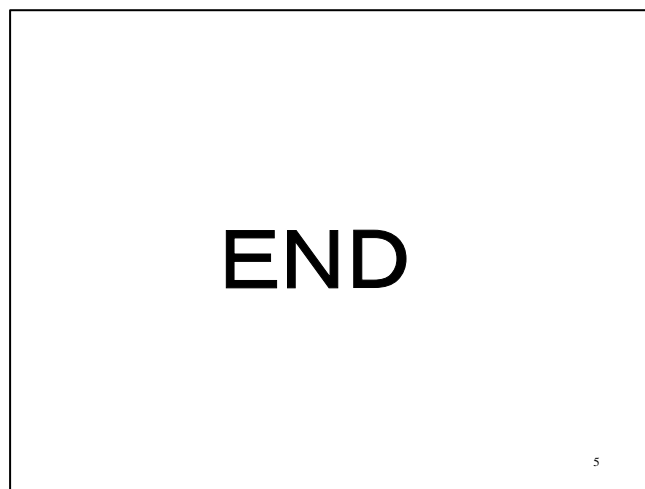
その他 思いつく原因・・・

- \* 家庭の冷暖房
- \* 工場から出る化学物質
- \* ごみの焼却
- \* 航空機(ジェット機は自動車24,000台分の煤煙やその他の物質を排出)
- \* 放射能

どんなことが起こるか → 酸性雨 オゾン層の危機 など



4



5

## 6月19日発表資料(第2班)

平成20年度SPP「原子力を知っていますか？」

### 発表テーマ 「地球温暖化現象」

第2班

秋月 大輝  
菅家 大維

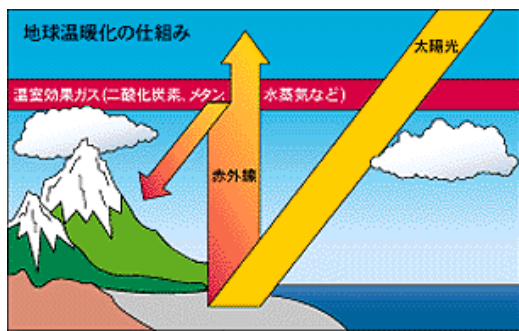
磯 善人  
鬼塚 裕也

埼玉県立川口高等学校 第3学年  
平成20年6月19日(木)

### 地球温暖化とは・・・。

- ▶ 地球表面の大気や海洋の平均温度が長期的に見て上昇する現象である。
  - ▶ 生物圏内の生態系の変化や海面上昇による海岸線の浸食といった、気温上昇に伴う二次的な諸問題まで含めて言われることもある。(その場合**気候変動**という用語を用いることが多い)
- ↓
- ▶ 現在、温暖化が将来の人類や環境へ与える悪影響を考慮して、さまざまな対策が立てられ、実行され始めている。

### 地球温暖化現象のメカニズム



### 比較



### 地球温暖化を防ぐためにやる事

- エアコンの使用を控える
- 冷房は1°C高く、暖房は1°C低く設定する
- 待機電力をストップさせる
- シャワーを1日1分減らす
- 風呂の残り湯を洗濯に使う
- 炊飯ジャーの保温を止める
- 家族が同じ部屋で過ごすようにする
- 買い物袋を持って歩き、過剰包装のものを避ける
- テレビの見る時間を減らす

# 終

平成20年度SPP「原子力を知っていますか？」

発表テーマ

## 「国連気候変動枠組条約」

第3班

落合 隆太      河本 永寛  
友部 源太      宮本 完徳

埼玉県立川口高等学校 第3学年  
平成20年6月19日(木)

1

## 気候変動枠組条約とは？

- 1) これまで温室効果ガスをたくさん出してきた先進国が中心となって、二酸化炭素の量を削減すること。
- 2) 先進国は、2000年までに、その国から出す二酸化炭素の量を、1990年と同じ水準にまで戻すよう努力すること。
- 3) 先進国は、途上国に対して、技術、資金などの面で支援すること。

2

### 第三回締約国会議(地球温暖化防止京都会議)

で、温室効果ガスの削減目標を具体的な数値で設定しました。

正式名称「気候変動に関する国際連合枠組条約」

日本は今後も気候変動問題を含む地球環境問題を最重要課題の一つとして位置づけ、国際社会において日本の知見や技術を活かした様々な提案を行うなど、持続可能社会を実現すべくこの問題に引き続き積極的に取り組んでいく。

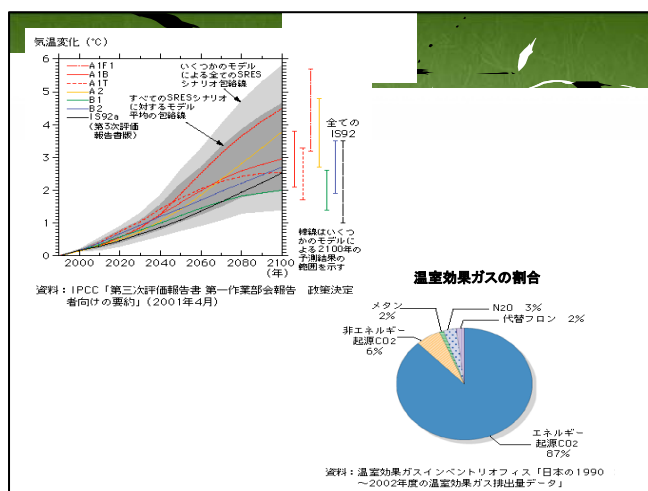
3

### 温暖化対策に対する我が国の取り組み

|       |  |
|-------|--|
| 1997年 | 12月 COP3 (地球温暖化防止京都会議)<br>京都議定書を採択 日本は6%削減を約束                    |
| 1999年 | 4月 地球温暖化対策推進法と改正省エネ法の施行  |
| 2000年 | 11月 COP6 (地球温暖化防止ハグ会議) 合意は延期                                     |
|       | 12月 99年度の日本のCO2排出量約9%増加(90年比推定値)                                 |
| 2001年 | 4月 IPCC第三次評価報告書を発表<br>「20世紀急速に地球温暖化は進み、2100年には最大5.8度気温が上昇する」と警告! |
|       | 7月 COP6再開会合 京都メカニズムや吸収源の詳細な運用ルール案の確定                             |
|       | 国内制度と排出削減シナリオの検討作業   |
| 2002年 | 京都議定書の発効!<br>法制度の制定=日本の京都議定書批准                                   |
| 2008年 | ↓  |
| 2012年 |  |

全国地球温暖化防止活動推進センター提供

4



平成20年度SPP「原子力を知っていますか？」

発表テーマ 「京都議定書」

第4班

須藤 崇浩  
倉上 将徳  
松本 秀

笹原 玲央  
三上 利信

埼玉県立川口高等学校 第3学年  
平成20年6月19日(木)

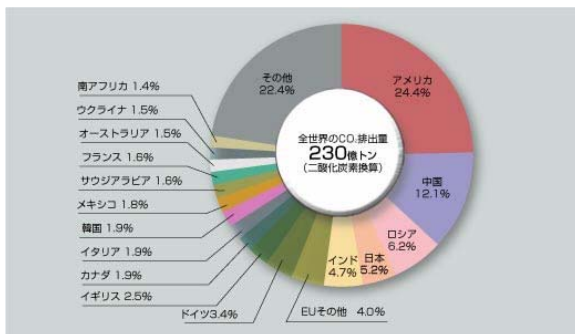
京都議定書とは!?

＜地球温暖化を防止するための  
国際条約＞



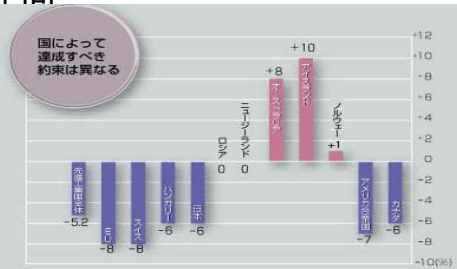
2

国別二酸化炭素排出量



● 約束期間

○ 第1期は、2008年～2012年の5年間



● 先進国及び市場  
経済移行国全体の  
目標

○ 少なくとも5%削減

おわり



6

# 6月19日発表資料(第5班)

平成20年度SPP「原子力を知っていますか？」

## 発表テーマ 「原子力」

第5班

松本 健太郎

矢作 悠馬

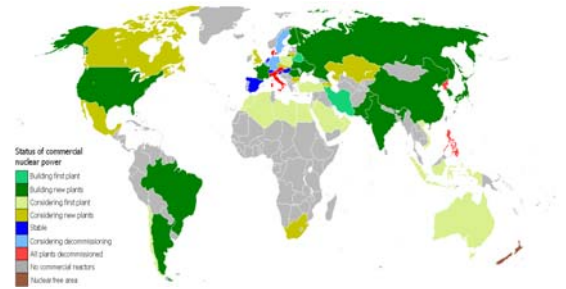
染谷 玄英

小沼 教幸

埼玉県立川口高等学校 第3学年  
平成20年6月19日(木)

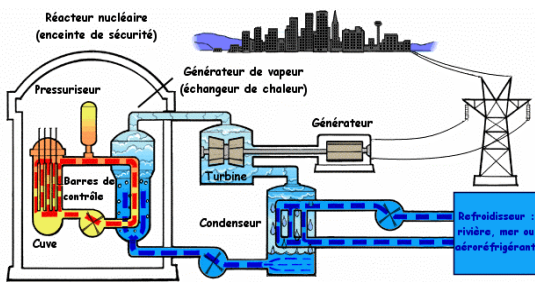
1

## 原子力発電所の分布図



1

## 原子炉



2

## 放射線を食べる菌



3